

労働災害発生状況

(平成28年上半期)

— 第三次産業を中心に労働災害が増加しています! —

休業4日以上¹の労働災害は平成28年6月末時点で、平成27年6月末時点の件数より**21.4%増加**しています。

製造業、道路貨物運送業では減少が認められるものの建設業、第三次産業で増加し、全体的に労働災害が増加しております。

転倒災害が大幅に増加しており、全体の26.5%を占めます。転倒災害発生事業場の61.1%が第三次産業となっております。

1 休業4日以上¹の労働災害発生件数

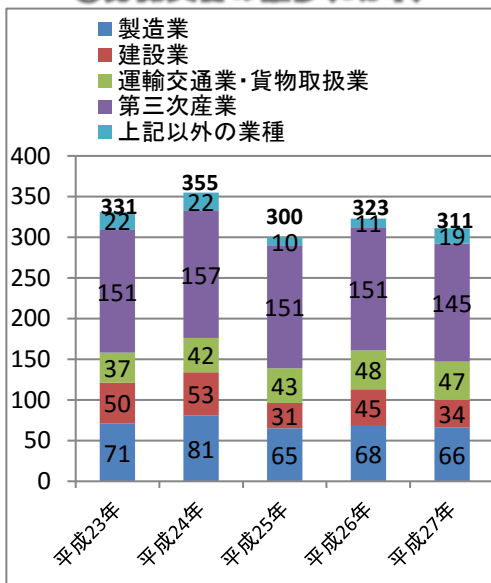
平成28年6月末
現在(速報値)

平成27年6月末
現在(速報値)

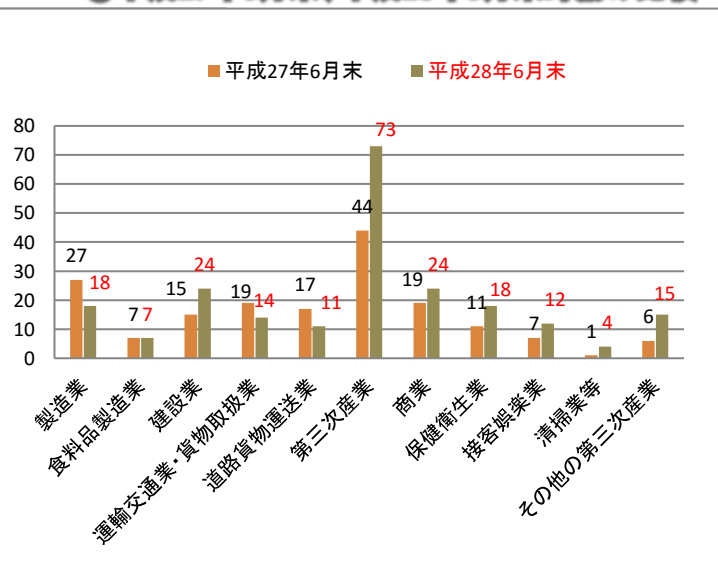
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	前年同期
製造業	71	81	65	68	66	18	27
食料品製造業	20	27	12	13	12	7	7
建設業	50	53	31	45	34	24	15
運輸交通・貨物取扱業	37	42	43	48	47	14	19
道路貨物運送業	30	34	30	35	34	11	17
第三次産業	151	157	151	151	145	73	44
小売業	33	35	34	33	40	16	15
社会福祉施設	39	32	27	27	23	15	8
飲食店	14	22	16	13	12	4	3
清掃業等	10	13	9	17	11	4	1
その他の第三次産業	55	55	65	61	59	34	17
上記以外の業種	22	22	10	11	19	7	7
合計	331	355	300	323	311	136	112

平成28年6月末時点で平成27年6月末と比較すると**24件増加**しました。「建設業」「第三次産業」で増加しています。建設業では「土木工事」、第三次産業では「社会福祉施設」での増加が特に目立ちます。

①労働災害の推移(5カ年)

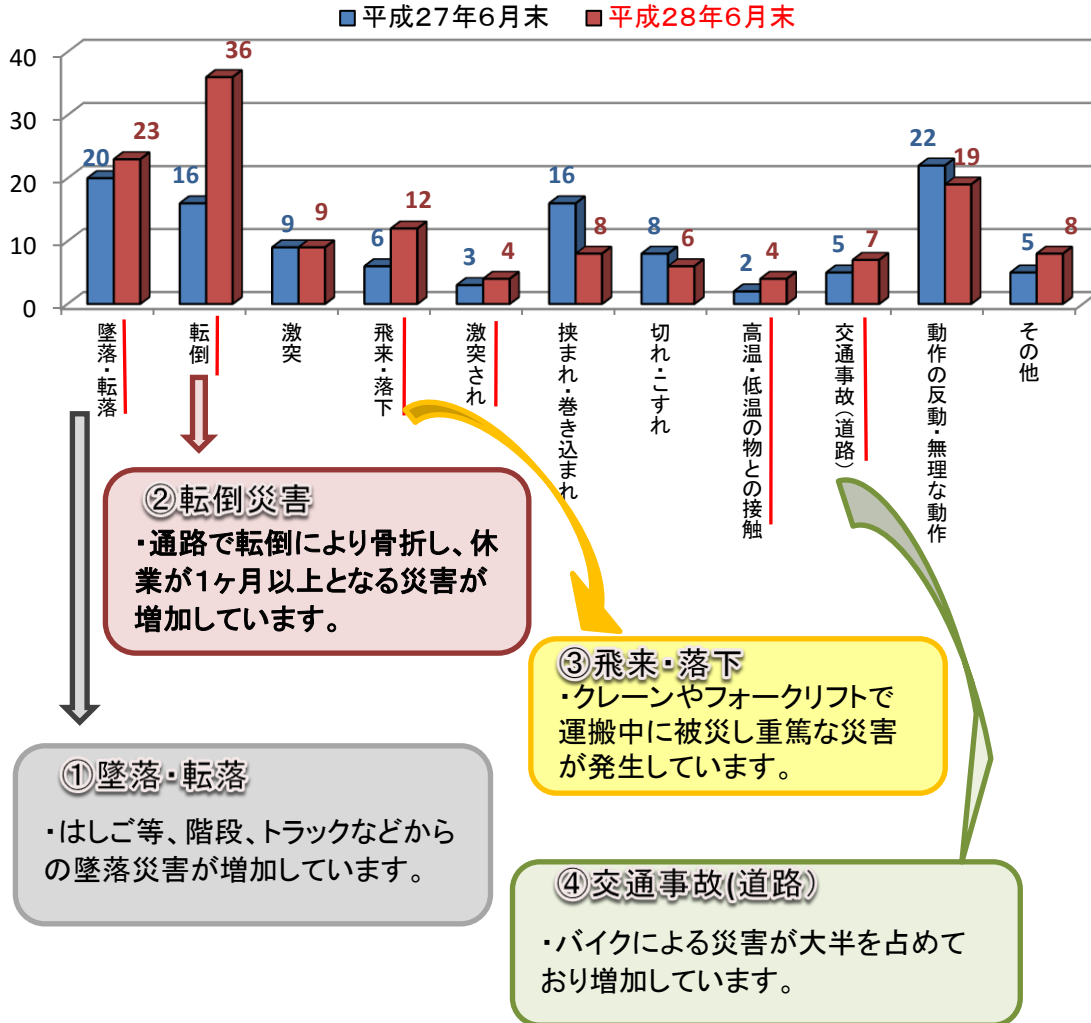


②平成27年6月末、平成28年6月末時点の比較



2 事故の型別発生状況

事故の型別にみると、多くの事故の型で増加しています。特に「転倒」、「飛来・落下」による災害が大幅に増加をしています。



3 労働災害防止のために

本年上半期は、昨年と比べて転倒災害が大幅に増加しており、屋内外問わずあらゆる場所において発生しております。また、飛来落下災害も大幅に増加しております。

転倒災害防止について当署では、『青梅署STOP！転倒災害プロジェクト』を推進しており、特に「転倒災害防止の見える化」についてより一層の推進を図ってまいります。飛来落下災害防止については、吊り荷の下への立入禁止措置の徹底と物を手で持ち運ぶ際の対応策が課題となっております。

一方、挟まれ巻き込まれ災害が製造業を中心に減少しておりますが、今後もリスクアセスメントの実施は勿論のこと、内容が十分であるか「質」の面を精査することが重要となってきています。

事業所の方におかれましては、自社労働者のみならず、事業所入場者にも配慮した安全衛生活動の展開に努めていただき、引き続き、効果的な安全衛生教育の実施や安全衛生活動の活性化をお願いいたします。